

# あんどくりすの防災四季だより



第6回 放送日：2019.5.10（金）

パーソナリティー：あんどくりす

テーマ：鳴ったらどうする?! 緊急地震速報

「命を守る」という大切なことに役立つのは、  
アウトドアのスキル。

阪神大震災を被災した「あんどくりす」さんが、  
防災・減災の方法を楽しく導きます。

緊急地震速報が鳴ったら、皆さんはどうされますか？

5月15日（水）には Jアラート、  
全国瞬時警報システムの訓練があります。（※1）

（※1）

緊急時に情報伝達が確実にいえるよう、  
国が実施する訓練。

緊急情報の伝達手段である  
「全国瞬時警報システム（Jアラート）」を  
全国的に起動させ、  
機器の稼働状況を確認する。

2019年度は、  
第1回5月15日、第2回8月28日、  
第3回12月4日、第4回2020年2月19日。  
それぞれ11:00頃から実施される予定。



# 鳴ったら揺れる

本日は  
緊急地震速報などの  
安全情報が流れた時に、



「どのように動くか」  
という事についてお話しします。

緊急地震速報が鳴ったら、  
皆さんはどうされますか？

多くの人が、

「ぜったいコレやっちゃうわ」(\*\_\*;  
という行動があるんです。

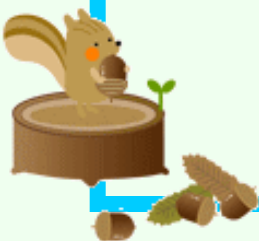
それは何かというと、  
< 隣の人を見る > というもの。(笑)

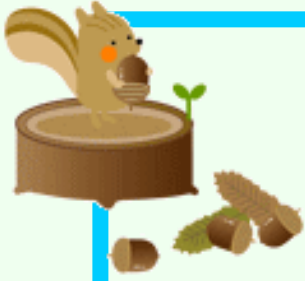
地震だ！ と、  
わかった瞬間すぐに「身の安全を守る」  
というよりも、

何となく隣の人を見ちゃう。  
という人が、本当に多いようです。

地震というのは、

緊急地震速報が鳴ったら  
すぐに揺れてしまう可能性があります。





# P波とS波

地震はP波とS波が流れてくる……。  
なんて言うと  
難しく思いますね。

実はこのP波とS波は、

中学受験の入試問題にも出ているくらい  
今では小学生でも知っている用語です。

P波のPはprimaryと言って、  
最初という意味。  
最初に来る波なんです。

秒速7kmくらいなので、早く到達します。  
(Primary Wave＝最初の波)

次にS波は、セカンドsecond  
2番目にという意味なんですね。

S波の方は秒速4kmなので、  
後からやってきます。

被害をもたらす強い揺れは、S波です。  
(Secondary Wave＝第二の波)

P波・S波というと  
わかりにくいのですが、

最初の・次のという意味なのです。



# 緊急地震速報のしくみ

P波とS波の速度差と、  
情報を伝える電波速度の差から

何秒後に地震が来るかを  
割り出し、伝えるシステムが、

緊急地震速報です。

すぐ近くで地震が起こったら、

P波もS波も  
両方いっしょに来ちゃうので

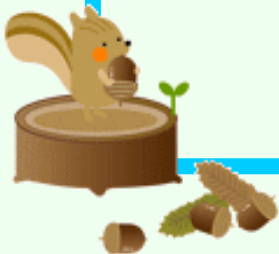
緊急地震速報も鳴らずに  
揺れてしまう可能性があります。

もし鳴ってくれたら、

その瞬間だけが「命を守る」  
という貴重な時間になります。

隣の人を見ている時間は、  
非常にもったいないんですね。

「素早く身の安全を守る」  
という事を  
やっていただきたいと思っています。



# 愛称をつけてみよう

緊急地震速報が鳴ると

「あの音ってコワイから、固まってしまう。」という方が非常に多いんです。

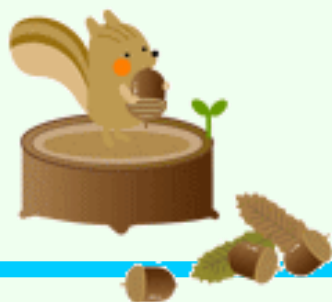
隣の人を見ることができる人は、まだ良いかもしれません。(笑)

緊急地震速報は「命を守ってくれる音」です。

聞いて固まってしまうのは避けたいですね。

子供向けの対策として、

楽しい名前、ラブリーな名前を付けてみてねと言っています。





子どもたちに、  
何て名前にする？ と聞いたら、

堂々第1位は  
「緊急地震速報のきんちゃん」。

他にもいろんな名前を考えてくれて、

「ピロリン♪」とかね。(笑)

よく考えて、  
守ってくれるから「まもちゃん♡」  
などの名前をつけてくれます。



あの音が鳴ったら、

「まもちゃんが命を守ってくれる音だよ。」  
などと、

みんなで、いちいち口に出していれば、

ちょっと、怖さが半減する  
効果があります。

まず名前を付けて、  
自分を守ってくれる音だと思ってみてください。



# 身の安全を守るとは

皆さんの  
ケータイが一斉に鳴り響いた！  
という時は、

地震の可能性があります。



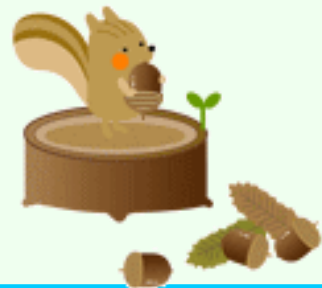
その時に  
ケータイを見てしまうと、

逃げ遅れる可能性があります。

情報を見る前に、  
まず「身の安全を守る」こと。

地震が来た時が最も、

何にもできない可能性が  
高いのです。





たとえば、いつも  
机の下に潜ろうと思っていると、

机が無い場所だと、何もできない。

外にいるのに、  
机の下を探してしまう小学生がいた。  
などと言われています。



校庭の安全な場所にいるのに、  
地震速報の訓練が始まったら、

潰れてしまいそうな校舎に逃げちゃった。

という子供を  
YouTubeの動画に見ることもあります。

いつも「机の下」と思わないで、

「安全な場所」  
というふうに思っておいてください。





# 安全な場所の探し方

身の安全を守る形として

ダンゴムシのポーズを、  
すぐ取ろうとするかもしれません。が、

ブロック塀の横ですぐに  
ダンゴムシになつては、

危ないですよ？

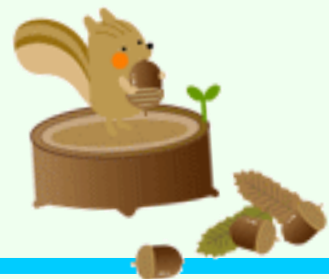
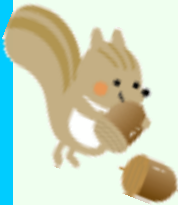


まず

- ・上を見て、
- ・横を見て、

- ・落ちてこない、
- ・倒れてこない、

- ・走ってこない場所を、  
探してください。





初めに、

①上から落ちてこないかどうかをチェック。

②前後左右を見て、

飛んできたり、  
走って来るものはないかな？

そういうものは無い、

③安全な場所に移動して、

④頭を守るために、

机でもいいし、椅子でもいいし、  
カバンでもいいし。

とりあえず  
何かにしがみついたりして  
⑤揺れから身を守る！

という態勢を  
とっていただければと思っています。



# アプリで、より早く！



緊急地震速報は、  
震度5弱で鳴るようになっています。(※2)

けれど、  
震度4でも3でも怖いですよね？

そのような時の為に  
緊急地震速報アプリがあります。

震度3～4くらいで  
震源から離れたところでは、

アプリの「〇〇秒後に来ます」という  
お知らせがあると、

ピッタリそのとおりに来ます。



(※2)  
気象庁が緊急地震速報(警報)を発表。  
2007年10月1日から。

一般に伝えられる  
緊急地震速報(警報)の発表条件は、  
・2点以上の地震観測点で地震波が観測され、  
・最大震度が、5弱以上と予想された場合。





Yahoo!防災速報、  
ゆれくるコール など

無料アプリがたくさんあります。

有料の物は、  
ちょっと早く教えてくれます。

まず無料アプリをダウンロードして、  
使ってみてください。

「あ、これ役にたつな」と思ったら

有料の物を  
使ってみていただけたらと思います。

普段から、  
アプリの速報に対応して、

地震が来るんだなという  
「心構え」ができていると、

大きな地震の時にも  
対応できるようになります。



TEXT/はしも